



王喜の郷の輪 第23回

ケアハウス王喜の郷入居者 N・H 様



今月15日は敬老の日です。皆様、おめでとうございます。
 今回は丁度、米寿を迎えられる H 様に現在の心境をお聞きました。
 中村: 今年は何かと節目のお誕生日となりました。おめでとうございます。
 入居されて7年になりますね。その間、大変な事もありましたね。素直なお気持ちをお聞かせ下さい。
 H 様: 自分としては、まだ米寿を迎えるとは思えませんが、ここ2~3カ月で体の衰えを感じています。
 中村: 最近腰の調子があまり思わしくないように見受けられますが。
 H 様: 事故のせいもあり完全には治らないようですが、現在では少しでも楽になればと針治療に通っています。
 食事をきちんと摂って、興味を持つことも大切です。大好きな映画を観たり音楽を聴いたり、新聞も毎日1時間かけて読みます。
 時事問題や世界情勢など詳しいですよ。とにかく感謝の気持ちをもって、日々自分で入浴出来て、食事と睡眠もきちんととれて過ごせたらいいと思います。
 中村: 感謝の気持ちをもって日々幸せに過ごせるのは本当に素晴らしい事です。
 入居されて間もない頃、事故に遭い、辛い入院生活を送られたからこそ、そう思われるのでしょうか？
 H 様: 事故で2カ月入院しておりましたから、その間お嫁さんが本当によくしてくれて感謝しかないです。
 「大好きな主人(息子さん)を生んでくれたお母さんをずっと大切にします。」と言って本当に涙が出るほど嬉しかったです。やっぱり心が大事。「本当に生きていて良かった。」
 中村: きっと、ご主人や息子さんが守って下さったのでしょう。生かされた命です。ご主人や息子さんの分まで元気で過ごしてくださいね。
 H 様: コロナが発生した当初もお嫁さんがいち早く布でマスクを沢山縫って来て、お嫁さんには感謝しかないです。
 中村: あの頃はマスクが不足して大変な時期でしたからね。
 H 様: 前回、T 様がたんぽぽ通信で戦時中の事を書かれていましたが、私も若い頃、疎開していて、多くの苦勞をしてきました。「それでも生きていてよかった。」世界が皆、平和であってほしいです。
 中村: 私の母も H 様と同じ年です。当時の大変さを聞かされた事があります。「生まれてきて良かった」という H 様の言葉がこれまで歩いて来られた人生を物語っているような気がします。私はいつも明るく元気な H 様に、頑張ろう！と勇気を頂いています。これからも多くの先輩方のようにお元気で過ごしてくださいね。貴重な話をありがとうございました。



週に一度、手作りデザートを作っています。

🍰 9月のデザート 🍰

- ①いちぢくのゼリー
- ②おはぎ(秋分の日)
- ③いきなり団子
- ④あんみつ(変更もあります)どうぞお楽しみ

たんぽぽ通信

9月1日発行 223号
ケアハウス王喜の郷 令和7年9月号

Webページ <http://www.ryokujukai.jp>

巻頭言

8月よりケアハウスでコロナウイルス感染症が発生しています。入居者の方、職員ともに感染者が出ています。そのため、8月28日から入居者の方全員、朝の検温を再開しております。ケアハウス食堂には現在の発生状況(人数)を記載しておりますのでご確認ください。
 皆さまには感染症対策をしていただいておりますが、ひとりひとりの行動で感染を予防することができます。引き続きしっかりと感染防止対策をお願いいたします。

1. 手洗い・消毒
2. マスク着用
3. 換気

体調に変化があった場合には居室からナースコールをしてください。

施設長 末谷千秋

〈お知らせ〉

S・T 様退居されました。

9月のお誕生日&行事予定

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-------------------------------|-------------------------------|---------|----|----|----------------------|------------------|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 7 白露 K・M 様 I・T 様 誕生日 | 8 | 9 重陽の節句 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 M・M 様 誕生日 | ⑤ 敬老の日 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 秋の彼岸入り 誕生会 |
| 21 | 22 A・M 様 誕生日 ニコニコミーティング | ⑬ 秋分の日 | 24 | 25 | 26 彼岸明け ビューティヘルパー | 27 N・H 様 誕生日 |
| 28 | 29 | 30 | | | | |

*誕生日:お名前記載の方の誕生日です。

**ビューティヘルパー:出張の理美容です。食堂白板に「申込み書」を貼っています。ご自分でご記名ください。

ケアハウス王喜の郷

みなさんこんにちは。
7月から入社しましたチャン・ティ・ミーディエンです。
今日は日本に来たばかりの時の事をお話します。
私は2024年7月8日に初めて日本に来ました。夏だったのでとても暑かったです。福岡空港に着いた時、蒸し暑くて気持ちが悪くなりました。しかし沢山の書類を作らないといけなくて大変でした。とても疲れていましたが、車の窓から見る景色はとてもきれいで心が落ち着きました。日本では車が左側を走るので最初は驚きました。今でも忘れられない大切な思い出です。日本料理が好きなので、日本料理をたくさん学びたいです。これからよろしく願いいたします。

調理員 チャン・ティ・ミーディエン

王喜の郷デイサービスセンター

今年の夏は猛暑となり昨年以上に暑く、9月に入っても暑さが長引くと言われていました。
皆様、体調はいかがですか？デイサービスでは皆様が快適に過ごせるように、夏は室温27～28℃、湿度40～60%を維持するため、温湿度計にて数値を把握し、エアコンの使用や窓の開閉による換気で調整を行っています。また、ご利用者ひとりひとりの体調や感じ方に配慮し、羽織り物での調整や水分補給なども行いながら、適切な温度環境を整えるように心がけ、皆様の健康管理をさせていただきます。
皆様もこまめな水分摂取を心掛けて下さいね。
健康についての疑問や不安のある方は、些細な事でも看護職員にお問い合わせ下さい。

看護職員 高野 早苗

グループホーム王喜の郷ライム

朝夕に涼しさを感じる季節となりました。昨年までは駐車場だった場所に東屋が建ち、花壇が出来ました。薩摩芋も元気に茂り始めました。毎日の外気浴では皆様東屋の木陰に座り花を眺め、自然と笑顔になり、お話が弾むようになりました。
2ユニットの『百合』と『葡萄』が今ではほぼ一体となり、皆様18名、毎日を賑やかに過ごしています。お盆やお孫様の夏休み、帰省と、夏は楽しい行事が目白押しで、ライムの皆様もご家族様との面会や外出、外泊が多い夏でした。久しぶりに娘様に会えたと仰り涙を流す方もおられました。もしコロナや百日咳といった感染症が流行してしまうと、ご家族様にも面会等をご遠慮いただく事になってしまいます。これからも感染症対策、熱中症対策を忘れずに、皆様に笑顔で過ごして頂けるよう、励んで参ります。

介護職員 福島 咲

グループホーム王喜の郷

9月に入りますが毎日30°を超える暑い日が続いています。グループホームでは皆さんに快適に過ごしていただけるようエアコン、シーリングファンを活用して室温調整を行い、空気の循環をしています。定期的に換気も行っています。
外気浴も暑いこの時期は短めですが麦わら帽子をかぶり毎日行うようにしています。外に出ると気温の高さや、夏の食べ物、花を感じられ「あの花は何て名前やろうか？」「美味しそうなのがなっちょるね！」「昔はこねえ暑うなかったよ。扇風機で十分やったそいね！」と会話も弾みます。
今年の夏は長く、11月頃まで暑いと言われていました。まだまだ熱中症、脱水に気を付け水分補給をしっかり行って暑い夏を皆さんと一緒に乗り越えていきたいと思ひます。

介護職員 奥田 しのぶ

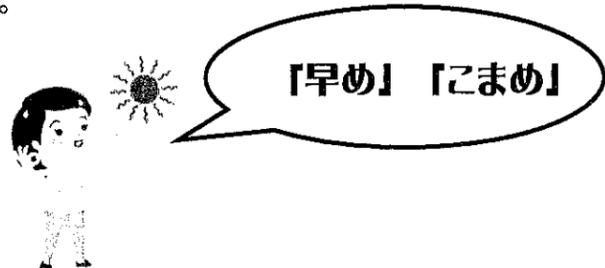
王喜の郷居宅介護支援センター

立秋も過ぎ、暦の上では秋となりましたがまだまだ厳しい暑さが続いており、連日猛暑日を超える日が続いております。8月よりライムから異動し、居宅支援センターとミントの家の兼務となりました、太田です。
居宅介護支援センターでの業務は、今までの介護現場とは違う側面で利用者の皆様と関わる事が多く、学びの多い充実した日々を過ごしています。介護現場で目にするケアプランがどのような過程を経て作られていくか、適切なケアプランを作成するためにどのような視点や意識を持って利用者の皆様に関わるか等、介護支援専門員という仕事の重要性を改めて再認識させられます。初めての仕事に経験不足や知識不足を痛感する場面が多いですが、精一杯頑張りたいと思ひますのでよろしく願いいたします。

介護支援専門員 太田 岳麦

王喜の郷ホームヘルプステーションいるか

毎日暑い日が続く、食欲不振で体調不良、いわゆる「夏バテ」されていませんか。暑いので冷たい物の摂りすぎは、胃腸に負担をかけ体調不良の一因になります。
バランスの良い食事と、熱中症対策のためにも水分補給は「早め」「こまめ」を意識して下さい。訪問時に、室温の確認や、水分補給の声掛けをしています。
まだまだ暑い日が続きますが、ヘルパー皆、暑さに負けないように頑張っています。感染症対策にも配慮して、訪問させていただきますので、よろしく願いします。



訪問介護員 山本 美弥子

王喜の郷ミントの家 シニアハウス王喜の郷

夜になると外からは秋の虫の声が聞こえるようになり秋が感じられるようになってきました。しかし、まだ日中は気温30度を超える日が続く残暑が厳しい毎日です。
かつて「冷夏」と言われた夏がありました。最後の全国的な「冷夏」は2003年が最後でふたむかし前となり、現在の猛暑の夏からすると懐かしい言葉です。
ミントでは一年を通して利用者に季節を感じていただけるよう午前中に建物周辺で外気浴を行なっています。この時期は暑いので短時間ですが麦わら帽子を被っていただき、蝉の声を聞きながら蝉の脱け殻に触れて頂いたり、夏の日差しや風を肌に浴び五感を通じて夏を感じていただいています。
先日、ある利用者が「暑い日が続くから天高く馬肥ゆる秋が恋しいね」と言われていました。馬が肥ゆるまでは望みませんが過ごしやすい秋の到来を心から待ち望んでいます。

介護職員 山根 徹

放課後等デイサービス さくら

長かった夏休みも終わりを迎えました。疲れて眠る子が増え、やっていた宿題に追われている子も居り、賑やかな日であるはずが静かに過ぎることがあります。
今年は、初めての試みで保護者参加型の行事として夏祭りを行いました。参加された保護者の皆様にも「子どもと一緒に参加出来て楽しかった」「子ども達の喜んでる姿を見ることが出来て良かった。」などと喜んでいただきました。子ども達の中には、普段は友達と一緒にワイワイ参加するタイプの子が、母親の前では「やらない」と言い、その場から離れるといった姿が見られました。母親が、射的で「倒して」と声をかけると「仕方がないなあ」といった感じで始めます。そしていつの間にか親子共に笑顔で参加できていたといった新鮮な場面も見られました。

さくら支援員 塩谷一雅